

カワウからアユ守れ！

清流の郷 清づくり大作戦 浜坂高生、かかし5体製作



組合員らと協力し、かかし製作に取り組む生徒＝17日、新温泉町芦屋の浜坂高

効果抜群、岸田川に設置

新温泉町の岸田川でアユを捕食する水鳥カワウによる漁業被害を減らそうと、浜坂高（同町芦屋）の生徒が17日、同校でかかしの製作に取り組んだ。完成させたかかし5体は、11月末まで同町戸田と板谷の川沿いに設置する。

（安部航太）

岸田川漁協（杉谷勉組合長）が主催し、豊岡土地改良センターなどが協力。河川の魚道整備を行う但馬県民局の「清流の郷づくり大作戦」の一環で、2019年から実施している。同漁協によると、設置の効果は抜群で、かかしを立てた場所には、カワウがほとんど近づかないという。この日は同校ボランティアアサークルの生徒など、2年生9人が参加し、同漁協の組合員らと協力して作業を進めた。十字に組んだ縦約2尺、横約1・5尺の竹に、目立つ色の服を着せてワラを詰め込み、人型に形成。仕上げにワラを詰めて作った頭に、思い思いの

顔を描いて、かかしを完成させた。
1年の赤坂紗瑞さん（16）は「顔を描くのが楽しかった。カワウからアユを守ることに役立ってほしい」と話していた。